キャリア教育委員会　県立大師高校　レポート

開催日	２００９年１月２０日（火）
場　所	神奈川県立大師高等学校
担当者	前田・鈴木・庄司・松村

大師高校の総合学科では「産業社会と人間」という科目があり、その中の授業として「その道のプロに聞く」と題して各分野の職業をしている社会人から話を聞き、自分の将来を考える契機としています。当日参加されていた方々は、保育士・美容師など１５職種の方がいました。

生徒が希望する職業の教室に移動する形で、30 分間授業を２回行いました。

私たちの授業の進行は、初めの５分間で、事前に作成していたレジメを生徒に配り、それにそって「インテリアコーディネーターの仕事内容」について説明をしました。

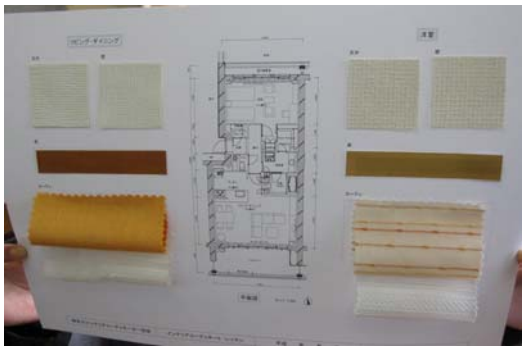
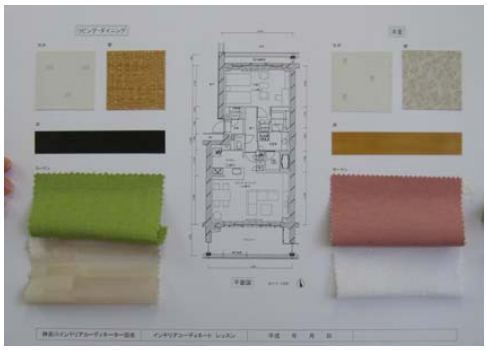
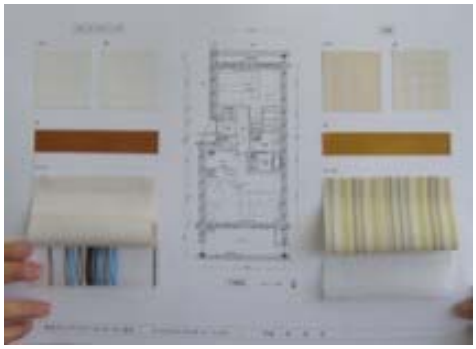
その後、床・クロス・カーテン生地のサンプルを使って、マンションのリビングと個室のコーディネートボードを作成してもらいました。

ボードの作成を始めようと呼びかけたときは、たくさんあるサンプルから選ぶのが不安だったのか、腰が重そうでしたが、選び始めると迷いながらも楽しそうに選んでくれました。

「自分の家はどんなクロス貼ってある？」と聞いてみると自分の家がどうなっているか覚えていない子がいて「帰ったら見てみよう」と言っていました。これをきっかけに自分の住まいに関心をもってもらえたら良いなと思います。

2 部屋分のコーディネートを 30 分の授業の中で仕上げるのは難しいのではないかと思っていましたが、参加してくれた生徒全員仕上げることが出来ました。

仕上がっている子に「もう出来たの？早いね」と声をかけたら「適当に選んだだけだから」と照れくさそうに言っていましたが、色調を揃えていてきちんとコーディネートしてありました。他の生徒さんもそれぞれのセンスや好みが活かされて上手にコーディネートしていました。

最後にインテリアコーディネーターの試験は年齢や経験の有無は問われないことを説明しました。今回の体験で IC に興味をもってくれて、挑戦してくれる生徒がいたら良いなと思います。

（レポート：Y.M）